

Contents

演劇芸術監督 小川絵梨子	2
2020/2021シーズン 演劇 ラインアップ	3
海外招聘公演	
ガラスの動物園	4
リチャード二世	6
シェイクスピア歴史劇シリーズ映像上映 ...	9
ピーター&ザ・スターキャッチャー	10
人を思うちから 其の壱	
斬られの仙太	13
人を思うちから 其の貳	
東京ゴッドファーザーズ.....	16
人を思うちから 其の参	
キネマの天地	19
短編フェスティバル「嘘」(仮題)	
—はじめての演劇—	22
こつこつプロジェクト —ディベロップメント—	26
ロイヤルコート劇場✕新国立劇場 劇作家ワークショップ	27
公演一覧(1997.10～2020.8)	28

2020/2021 シーズン 演劇

演劇芸術監督 小川絵梨子



2020/2021シーズンは、私の芸術監督としての任期3年目となります。本シーズンでは演劇を愛する皆様に加えて、まだ演劇と出会ったことのない方々にも、その多様性と豊かさ、そして演劇ならではの面白さをお届けできればと願っております。

まず、シーズンの幕開けには、フランスの国立劇場であるオデオン劇場からの招聘公演『ガラスの動物園』。演出は、今、世界で最も人気を誇る演出家といっても過言ではないイヴォ・ヴァン・ホーヴェ氏。主演はフランスの国民的女優イザベル・ユペール。2020年の3月にパリで開幕する話題の新作を、新国立劇場からお届けいたします。続いて、鶴山仁氏演出による『リチャード二世』。2016年に上演した『ヘンリー四世』

に繋がる物語で、この作品をもって2009年からのシェイクスピアの歴史劇シリーズがついに完結いたします。さらに公演後の11月には、本シリーズの完結を記念して、シリーズの過去の作品を特別限定上映いたします。12月には、昨シーズンからの「子どもも大人も一緒に楽しめる企画」の第三弾として『ピーター&ザ・スターキャッチャー』。ピーター・パンの前日譚を描いた人気小説を舞台化し、トニー賞をはじめ多くの賞を受けた作品です。4月、5月、6月は、「人を思うちから」シリーズと題しまして、日本の多くの人々に愛され続ける名作を連続上演いたします。シリーズ【其の壺】は、三好十郎作『斬られの仙太』。本作はフルオーディション企画でもあり、全てのキャストをオープンオーディションいたします。演出には上村聡史氏をお迎えすることができませんでした。【其の弐】は、『東京ゴッドファーザーズ』。今 敏監督の傑作アニメーション映画の初の舞台化となります。2021年の東京に舞台を移し、演劇ならではの切り口で人の情と勇気の物語を蘇らせます。演出には新国立劇場初登場となる藤田俊太郎氏。【其の参】は、井上ひさし作『キネマの天地』。人々に愛され続ける日本の上質な名作を、30代40代の演出家3人が現代の視点を持って描き出します。

7月は、短編フェスティバルを開催します。短編の演劇作品を劇場という形にこだわらず、新国立劇場内のあらゆるスペースにてフェスティバル形式で上演いたします。普段、演劇に接することのない方々にも、気軽に劇場に足を運んで頂ける、お祭りとして楽しめるイベントを目指します。

演劇と言っても様々なものがあります。その多様性は大切ではありますが、その中でも、生きた人間がそこにいる演劇は（必ずしもいつもハッピーエンドではなく、輝かしい世界でもなく、日々の癒しや単純な喜びにはならないかもしれませんが）、人が生きる上できっと必要な、人間らしさへの共感性があります。人間の物語としての演劇とその豊かさを少しでもお伝えできれば幸いです。

公演以外では、一年間をかけて作品作りを行う「こつこつプロジェクト」の第二期がスタートいたします。昨シーズンからの「ロイヤルコート×新国立劇場劇作家ワークショップ」は引き続き進行中で、2020年にロンドンでのリーディング公演を予定しております。その他、ギャラリープロジェクトでは、「中高生のためのどっぷり演劇3days」、「演劇のおしごと」シリーズ、「演劇嘶」シリーズを引き続き実施してまいります。

本シーズンもどうぞよろしくお願い申し上げます。

〈プロフィール〉

2004年、アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。10年『今は亡きヘンリー・モス』の翻訳で、第3回小田島雄志・翻訳戯曲賞受賞。12年『12人～奇跡の物語～』『夜の来訪者』『プライド』の演出で第19回読売演劇大賞優秀演出家賞、杉村春子賞受賞。14年『ピロマン』『帰郷-The Homecoming』『OPUS/作品』の演出で第48回紀伊國屋演劇賞個人賞、第16回千田是也賞、第21回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。

新国立劇場では『タージマハルの衛兵』『骨と十字架』『スカイライト』『1984』『マリアの首一幻に長崎を想う曲一』『星ノ数ホド』『OPUS/作品』の演出のほか、『かもめ』『ウィンズロウ・ボーイ』の翻訳も手がける。18年9より新国立劇場演劇芸術監督。

Drama

2020/2021 シーズン 演劇 ラインアップ

〈計 7 演目〉

2020 年 9 月

海外招聘公演

ガラスの動物園

作: テネシー・ウィリアムズ
演出: イヴォ・ヴァン・ホーヴェ
制作: パリ・オデオン劇場

2020 年 10 月

リチャード二世

作: ウィリアム・シェイクスピア
翻訳: 小田島雄志
演出: 鶴山 仁

2020 年 12 月

日本初演

ピーター&ザ・スターキャッチャー

作: リック・エリス
原作: デイヴ・バリ、リドリー・ピアスン
音楽: ウェイン・バーカー
翻訳: 小宮山智津子
演出: ノゾエ征爾

2021 年 4 月

フルオーデション 3

人を思うちから 其の壱

斬られの仙太

作: 三好十郎
演出: 上村聡史

2021 年 5 月

新作

人を思うちから 其の弐

東京ゴッドファーザーズ

原作: 今 敏
作: 土屋理敬
演出: 藤田俊太郎

2021 年 6 月

人を思うちから 其の参

キネマの天地

作: 井上ひさし
演出: 小川絵梨子

2021 年 7 月

新作含む

短編フェスティバル「嘘」(仮題)

—はじめての演劇—

2020 年 9 月
＜海外招聘公演＞

ガラスの動物園

The Glass Menagerie

中劇場 〈フランス語上演／日本語字幕付〉

●会員先行販売期間:2020 年 6/14(日)～6/24(水)

●一般発売日:2020 年 6/28(日)

作 : テネシー・ウィリアムズ

Written by Tennessee WILLIAMS

演出: イヴォ・ヴァン・ホーヴェ

Directed by Ivo van HOVE

制作: パリ・オデオン劇場

Creation Odéon-Théâtre de l'Europe

出演: イザベル・ユペール、ナウエル・ペレ・ビスカヤー、ジャスティーン・バチエレ、シリル・グエイ

Cast: Isabelle HUPPERT, Nahuel Pérez BISCAYART, Justine BACHELET, Cyril GUEÏ

作品

本作は小川絵梨子芸術監督就任後、初の海外作品招聘公演となります。

フランス、パリのオデオン劇場の協力のもと、2020年3月にオデオン劇場制作によりワールドプレミアを迎えるテネシー・ウィリアムズの代表作『ガラスの動物園』を招聘し日本初演します。

主演のアマンダ役にはフランスを代表する女優であり、映画、舞台と幅広く活躍するイザベル・ユペール、演出には、話題作を次々と発表し、今最も世界が注目する演出家、イヴォ・ヴァン・ホーヴェがあたります。

物語

この戯曲は「追憶の劇」である。

舞台は不況時代のセントルイスの裏町。メインキャラクターはアマンダ、彼女の娘のローラ、息子のトムの3人。生活に疲れながらも昔の夢を追い、儚い幸せを夢見る母親アマンダは未だに自分のことを箱入りの南部婦人だと思っている。靴工場で働くトムは家族を養いながら夢である詩人を志し、隙を見つけては映画に通う。彼の姉ローラは病的なほどに自意識過剰である。彼女はアパートから一歩も出ずに、自身のコレクションである小さく繊細なガラス細工の動物たちを来る日も来る日も磨き続ける……。この家にはそれぞれに別の幸せな人生を夢見る3人の孤独な者たちが一緒に閉じ込められている。しかしそんな日々も、彼らの夢が叶うかに思えたある晩までのことだった。ごく普通の青年でトムの友人でもあるジム・オコナーを、アマンダは「婿候補」と勘違いし、彼がローラにプロポーズする姿まで夢想してしまう。当然のごとく、彼女の計画は新たな、あるいは最後の幻想となる……。

スタッフ プロフィール

テネシー・ウィリアムズ

Tennessee WILLIAMS

アメリカの劇作家（1911年－1983年）。ミシシッピ州コロンバスに生まれ、不況時代のセントルイスで複雑な家庭環境のもと青春時代を過ごす。各地を放浪しながら創作をしていたが、39年に4つの一幕劇でシアター・ギルド賞を受賞。44年自伝的作品『ガラスの動物園』がブロードウェイで上演された第一作。この成功に続く47年の『欲望という名の電車』、55年の『やけたトタン屋根上の猫』で2度のピュリッツァー賞を受賞し、劇作家としての地位を確固たるものにしたが、その名声の裏で、生涯背負い続けた孤独と葛藤から私生活は荒れていった。83年ニューヨークのホテルの一室にて事故死。享年71歳。

イヴォ・ヴァン・ホーヴェ

Ivo van HOVE

2001 年よりインターナショナル・シアター・アムステルダム（アムステルダム）の芸術監督を務めている。自身の演出作品（『Germs』、『Rumours』）により、1981年に演出家としてのキャリアをスタートさせた。90年から2000年の間、Het Zuidelijk Toneel 劇団の監督を務める。1998年から2004年には、オランダ・フェスティバルの監督を務め、国際的な演劇作品、音楽、歌劇、およびダンスを毎年上演した。また10年まで、アントワープの劇場芸術部門の芸術的指導者を務めた。

14年にパリ・オデオン劇場で上演したアーサー・ミラー作『橋からの眺め』は、15年ロンドンのヤング・ヴィックにも招かれて絶賛され、ローレンス・オリヴィエ賞・最優秀演出賞を受賞。その後、NYリンカーン・センターでも上演されてブロードウェイ・デビューを飾り、第70回トニー賞・演劇演出賞を受賞した。続いて16年3月より同じくミラー作『るつぽ』(音楽フィリップ・グラス)を演出し、同じくトニー賞の再演演劇作品賞、主演女優賞など4部門候補となるなど、話題作を連発している。



2020 年 10 月

リチャード二世

Richard II

中劇場

●会員先行販売期間：2020 年 7/11(土)～7/22(水)

●一般発売日：2020 年 7/26(日)

作：ウィリアム・シェイクスピア

Written by William SHAKESPEARE

翻訳：小田島雄志

Translated by ODASHIMA Yushi

演出：鶴山 仁

Directed by UYAMA Hitoshi

出演：岡本健一、浦井健治、中嶋朋子、立川三貴、横田栄司、勝部演之、

吉村 直、木下浩之、田代隆秀、一柳みる、大滝 寛、浅野雅博、

那須佐代子、小長谷勝彦、下総源太郎、原 嘉孝、櫻井章喜、石橋徹郎、

清原達之、鍛冶直人、川辺邦弘、亀田佳明、松角洋平、内藤裕志

Cast:

OKAMOTO Kenichi, URAI Kenji, NAKAJIMA Tomoko, TACHIKAWA Mitsutaka, YOKOTA Eiji, KATSUBE Nobuyuki, YOSHIMURA Sunao, KINOSHITA Hiroyuki, TASHIRO Takahide, HITOTSUYANAGI Miru, OTAKI Hiroshi, ASANO Masahiro, NASU Sayoko, KONAGAYA Katsuhiko, SHIMOFUSA Gentaro, HARA Yoshitaka, SAKURAI Akiyoshi, ISHIBASHI Tetsuro, KIYOHARA Tatsushi, KAJI Naoto, KAWABE Kunihiro, KAMEDA Yoshiaki, MATSUKADO Youhei, NAITOU Hiroshi

作品

2009年から続いたシェイクスピアの歴史劇シリーズ上演がついに最終作を迎えます。これまで、イギリスの内乱、対フランスとの戦争や権力への執着など、人間同士の戦いを描いてきたこのシリーズ。様々な“争い”を通し、人間の営みの愚かさや崇高さを余すところなく描き切り、高い評価を得てきました。

その最終作『リチャード二世』は、歴史的には最も古い時代を扱った史劇で、全ての発端であり、人々の争いの原因となった、ボリングブルック（後のヘンリー四世）による、リチャード二世からの王権奪取が生き生きと描かれます。まさに最終作にして、その出発点を解き明かす鍵となる公演です。

出演は、岡本健一、浦井健治、中嶋朋子など、このシリーズには欠かせない俳優陣に、演出の鶴山仁をはじめ、スタッフはほぼ同じ布陣で臨みます。足掛け12年をかけた壮大な歴史絵巻がついに完結します。

なお、2020年秋はオペラ、舞踊（ダンス）、演劇の全3部門でシェイクスピアに関連した作品を上演します。

リチャード二世

物語

リチャード二世の王宮。王の面前に、反目しあう二人の貴族、ノーフォーク公モーブレイとヘンリー・ボリングブルックが召喚される。ボリングブルックは先ごろ暗殺されたグロスター公の死に、モーブレイが関与していたと告発するが、モーブレイはこれを否定。王の裁定は後日、決闘によって黒白をつけるというものだった。その当日、いよいよ決闘開始という時に、突如、王は決闘の中止と二人の追放を宣告する。

ボリングブルックは六年の追放に処されるのだが、やがて彼の父ジョン・オブ・ゴントが死去すると、王リチャードはその財産を没収する。この暴挙に加え、それまでのリチャードの治世に不満を高まらせていた貴族たちのもとに、ボリングブルックが失われた名誉の回復を求め、大軍を率いて帰国するとの報が寄せられる。

次々とボリングブルックに靡く貴族たち。民衆の支持も得た彼は、籠城した王と対峙すべく兵を進める。ボリングブルックの叔父ヨーク公にとりなされ、対面する二人。ボリングブルックは自身の名誉回復だけを要求するのだが、気圧された王は自ら譲位を宣言してしまう……。

演出家からのメッセージ

鵜山 仁

さて、『リチャード二世』。この作品をもって2009年の『ヘンリー六世』から始まったシェイクスピア歴史劇シリーズにも、一応のピリオドが打たれることになる。外つ国イングランドの、およそ100年にわたる戦乱の時代に、われわれなりの寄り添い方をしてきた10年。

この間政権政党がかわり、元号がかわり、都知事が三人かわった。大震災があり、大水害があり、特定秘密保護法、安保法制が施行された。10年前には想像できなかったような地球環境の変化、再生医療や人工知能の発展を目の当たりにして、人間存在とドラマの根幹である「自」と「他」や「生」と「死」のボーダーラインですら、曖昧なものになりつつある。

こうした社会の変化が舞台に影響を及ぼさないわけがない。夢見る心ではじめた演劇がいつの間にか変わりばえのしないルーティーンになり、エネルギーを失っていく、そんな退廃もそここで目にしてきた。が、とにかく、幾多の荒波をかいくぐってきたわれわれのカンパニーの、この10年の「成長」、「成熟」もしくは「老成」、「老化」に、改めて注目していただきたいと思う。

中嶋しゅう、島次郎というカンパニーの常連との別れもあった。それでも僕にとっては、芝居を作る上での途方もない可能性、人の力の大きさと出会えた10年だった。かけがえのない出会いと別れに深く感謝しつつ、これがまた新しい始まりに連なるような作品の初日に、是非立ち会いたいと願っている。

スタッフ プロフィール

ウィリアム・シェイクスピア

William SHAKESPEARE

イギリス、エリザベス朝の劇作家、詩人。1564年ー1616年。

生涯に37本を越える劇作を残し、死後出版された全集ではその作品が歴史劇、悲劇、喜劇に分類された。そのうち歴史劇は10本を数え、イギリスの王権史に題材をとった『ジョン王』『リチャード二世』『ヘンリー四世』第一部、第二部、『ヘンリー五世』『ヘンリー六世』第一部、第二部、第三部、『リチャード三世』『ヘンリー八世』がある。執筆された順から『リチャード二世』『ヘンリー四世』二部作、『ヘンリー五世』を「第2四部作」と呼ぶこともある。

37本の作品群は21世紀の今日に至るまで、本国イギリスは言うに及ばず全世界で上演され続けている。我が国でも、明治期に翻案作品が紹介されて以来さまざまな形で上演され、伝統芸能から小劇場の公演まで広範囲に影響を与えている。

鵜山 仁

UYAMA Hitoshi

舞台芸術学院、文学座附属研究所を経て、1981年、文学座座員に。83年から1年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在。毎日芸術賞千田是也賞、紀伊國屋演劇賞個人賞など、受賞多数。最近の演出作品に『ペリクリーズ』『廃墟』『トロイラスとクレシダ』『マンザナ、わが町』『街と飛行船』『ヴェニス商人』『幽霊』『怪談 牡丹灯籠』『女中たち』『Taking Sides～それぞれの旋律～』『アイランド』『日の浦姫物語』『この道はいつか来た道』など。新国立劇場では、『リア王』『新・雨月物語』『新・地獄変』『コペンハーゲン』『花咲く港』『カエル』『アルゴス坂の白い家』『オットーと呼ばれる日本人』『舞台は夢』『現代能楽集 鶴』『ヘンリー六世』『イロアセル』『リチャード三世』『桜の園』『ヘンリー四世』『ヘンリー五世』、オペラ『カルメン』『鹿鳴館』を演出。

『ヘンリー六世』の演出で2010年芸術選奨文部科学大臣賞、読売演劇大賞 最優秀演出家賞などを受賞。昨年は16年第23回読売演劇大賞 最優秀演出家賞を受賞。07年9月より10年8月まで新国立劇場演劇部門芸術監督を務めた。



シェイクスピア歴史劇シリーズ映像上映

2020 年 11 月

小劇場

概要

2009年10月に開幕した、シェイクスピア作『ヘンリー六世』三部作から始まる歴史劇シリーズは、一昨年の『ヘンリー五世』まで、同一の役を同じ俳優が通して演じ、またスタッフも全員同じメンバーで上演されるなど、我が国演劇界の大きな話題となってまいりました。本国イギリスでも稀な機会にしか上演されることはなく、もちろん日本の演劇界では初めての壮大な企画として、演出の鵜山氏を始め、出演俳優やスタッフも数々の演劇賞を受賞し、歴史劇シリーズは数多くの栄誉に輝きました。

今回、そのシリーズ上演の掉尾を飾る作品、『リチャード二世』を上演するにあたり、この作品が時系列では出発点となる時代を扱っていることもあり、これに続く過去の上演作品の中から、お客様の要望にお応えし、選りすぐりの作品を映像にて公開いたします。現在、鋭意公開作品を選定しております。どの作品が公開されるのか、お楽しみにお待ちください。

2020 年 12 月
＜日本初演＞
Japan Premiere

ピーター&ザ・スターキャッチャー

Peter and the Starcatcher
小劇場

- こども優先販売期間(会員先行): 2020 年 9/21(月・祝)～10/1(木)
- こども優先発売日: 2020 年 10/3(土)
- 会員先行販売期間: 2020 年 9/22(火・祝)～10/1(木)
- 一般発売日: 2020 年 10/10(土)

作: リック・エリス

Written by Rick ELICE

原作: デイヴ・バリー、リドリー・ピアスン

Based upon the novel by Dave BARRY and Ridley PEARSON

音楽: ウェイン・バーカー

Music by Wayne BARKER

翻訳: 小宮山智津子

Translated by KOMIYAMA Chizuko

演出: ノゾエ征爾

Directed by NOZOE Seiji

New National Theatre, Tokyo

Production of

PETER AND THE STARCATCHER

A Play By
Rick Elice

Based on the Novel by Dave Barry and Ridley Pearson

Music By
Wayne Barker

Originally produced on Broadway by Nancy Nagel Gibbs, Greg Schaffert, Eva Price, Tom Smedes, and Disney Theatrical Productions.

作品

『ピーター&ザ・スターキャッチャー』は、2004年に米国で出版、日本でも『ピーターと星の守護団』として知られている小説を基に劇作家リック・エリスが戯曲化した作品です。有名なあの『ピーター・パン』の前日譚として、ある孤児の「少年」が、海賊たちと戦う冒険を繰り広げ、どうして大人にならない永遠の少年「ピーター・パン」になったかが描かれています。新国立劇場で2014年に上演された『ご臨終』を演出し、近年目覚ましい活躍のノゾエ征爾を演出に迎え、日本初演でお届けします。ブロードウェイでは2012年に開幕し、同年にトニー賞9部門にノミネート、5冠を勝ち取ったヒット作です。

物語

ビクトリア朝時代の大英帝国。孤児の少年（のちのピーター・パン）は仲間とともに、卑劣な孤児院の院長により「ネバーランド号」に売られてしまう。船内で出会ったのは、好奇心旺盛な少女モリー。モリーは、父アスター卿と同じく「スターキャッチャー」として、世界制覇を企む奴らから、地球に落ちてきた星のかげら「スタースタッフ」の威力を遠ざける使命を帯びていた。宝がつまっているトランクを狙う黒ひげたち海賊は船に襲いかかり、少年たちとモリーはトランクもろとも海中に放り出されてしまう。やがて不思議な島モラスク島にたどり着いた彼らには、更なる冒険が待ち受け、そして……。

翻訳家からのメッセージ

小宮山智津子

この作品は劇作家リック・エリスが、小説『ピーター&ザ・スターキャッチャーズ』（デイヴ・バリー／リドリー・ピアスン作）を基に、新たに創作した劇です。スターキャッチャーというのは、おそろしい力をもつ星のかげらを悪の手から守る人たち。小説では、少年ピーターとスターキャッチャー修行中の少女モリーが、海賊たちを相手に大冒険を繰り広げます。話の設定はなんと、100年前に書かれたJ.M.バリの原作よりも前。なので、ピーターは最初、まだ空を飛ぶこともできません。

そして本作では、その大枠を残しつつ、登場人物を大胆にふくらませ、演劇ならではの趣向を盛り込んだ新しい物語が展開します。たとえば劇の冒頭で、ピーターには名前がありません。ひとりぼっちの少年が、自分の名前を得て、あのピーター・パンになるまでが、少年の心の内側からも見えてきます。そしてこの劇の大きな特徴は、俳優全員が自分の役のほか船乗りや海賊、観客に直接語りかけるナレーターにもなること。全員が一団となって物語をぐんぐんすすめていきます。まさに、ワンチーム！ 見ている人たちも一緒にワクワクしたり笑ったりほっとしたり、そんな体験になったらいいなと思っています。

演出家からのメッセージ

ノゾエ征爾

「ええ波に乗って」

温水洋一さんと江波杏子さん。

私の新国立劇場での創作は、このお二人から始まりました。始まりましたというか、今のところ新国立劇場における僕の全てです。まだその一本のみだったので。

モーリス・パニッチの『ご臨終』。究極の二人芝居。それはそれはお二人は素晴らしかったわけですが、まさか江波さんが故人になってしまわれるとは思っていませんでした。

ある時、本番前の楽屋にて、江波さんからある言葉をいただきました。それは私を支え続けてくれる言葉の一つとなっています。

『ピーター&ザ・スターキャッチャー』。あの『ピーター・パン』の前日譚にして、トニー賞5冠という、既に栄冠と評判の数々を手に行っている作品ではありますが、国も変われば、言葉も変わり身体も変わる。まるで新たな冒険となることでしょう。今のこの日本で活動する俳優たちの身体性を真実として、ピーターたちが乗る船を思いきって新たに漕ぎ出したく思います。きっと「ええ波」が、まだ見ぬ景色へと後押ししてくれることでしょう。

スタッフ プロフィール

リック・エリス

Rick ELICE

初めてブロードウェイの舞台を観たのは3歳の時。その晩、彼は演劇の世界で働くことを夢に見た。そして19歳から現在までこの仕事に携わっている。1982年から1999年までセリーノ／コインのクリエイティブディレクターとして、『コーラスライン』から『ライオンキング』まで300以上のブロードウェイ作品の広告キャンペーンに携わり、1999年から2009年まではウォルト・ディズニー・スタジオのクリエイティブコンサルタントを務めた。2004年、マーシャル・ブリックマンと共に、共同執筆したミュージカル、『ジャージー・ボーイズ』はデス・マカナフ演出の元、トニー賞、グラミー賞、そしてオリヴィエ賞のミュージカル作品賞を受賞。他に『Turn of the Century』や『アダムス・ファミリー』などがある。コーネル大学にて学士、イエール大学演劇大学院にて芸術学修士を取得、またアメリカン・レパトリー・シアターの創立会員としてハーバード大学でティーチングフェローを務めた。

ウェイン・バーカー

Wayne BARKER

2000年から2006年までデイル・エドナ・エバレッジと共に活動し、ブロードウェイ作品『DAME EDNA: BACK WITH A VENGEANCE』(2005)と『ALL ABOUT ME』(2010)では作曲と出演もしている。ニューヨーク・シアター・ワークショップのコンポーザー・イン・レジデンスでもあり、新作ミュージカルのためのアーティストック・アソシエイトを務めている。主な作品にシアトル・レパトリー・シアター『三銃士』『十二夜』、ガスリーシアター『グレート・ギャツビー』など。『ピーター&ザ・スターキャッチャー』では、ドラマ・デスク・アワードとトニー賞のオリジナル楽曲賞にノミネートされた。

小宮山智津子

KOMIYAMA Chizuko

三百人劇場/劇団昴、CWA J 海外女子奨学金を得てロンドンシティ大学院留学、1997年より世田谷パブリックシアターで学芸、企画制作にたずさわる。現在はフリーで、高齢者施設や障害者施設で上演する移動劇場「@ホーム公演」、「子どもとおとなのための◎読み聞かせ お話の森」の企画制作を続けている。

戯曲翻訳に、『バリーターク』『レディエント・バーミン』『マキユリー・ファー』『夢の劇』『溺れた世界』『ヒステリア』『兵士の物語』『白い病氣』など。2003年『ピッチフォーク・ディズニー』『ささやく声』『宇宙でいちばん速い時計』『ヒカリ・カガヤク』の翻訳で第10回湯浅芳子賞受賞。



ノゾエ征爾

NOZOE Seiji

脚本家・演出家・俳優。劇団「はえぎわ」主宰。1995年青山学院大学在学中に演劇を始める。1999年、劇団「はえぎわ」を始動。以降、全作品の作・演出を手掛ける。2012年、第23回はえぎわ公演『〇〇トアル風景』で第56回岸田國士戯曲賞受賞。外部公演をはじめ、映画、ドラマにも、脚本家、演出家、俳優として多数参加。

10年から世田谷区内の高齢者施設での巡回公演（世田谷パブリックシアター@ホーム公演）を続けている。16年にはさいたまスーパーアリーナで高齢者1600人出演の、1万人のゴールドシアター2016『金色交響曲〜わたしのゆめ、きみのゆめ〜』の脚本、演出を手掛けた。近年の演出作品に、東京芸術祭2019野外劇『吾輩は猫である』、音楽劇『トムとジェリー〜夢よう一度〜』、パルコプロデュース『命売ります』、世界ゴールド祭2018GAC『病は気から』など。新国立劇場では、『ご臨終』を手がけている。



人を思うちから 其の壱

2021 年 4 月
＜フルオーディション 3＞

斬られの仙太

Kirare no Senta

小劇場

●会員先行販売期間：2021 年 1/31(日)～2/9(火)

●一般発売日：2021 年 2/13(土)

作：三好十郎

Written by MIYOSHI Juro

演出：上村聡史

Directed by KAMIMURA Satoshi

出演：2020 年 1・2 月開催 オーディション合格者 16 名

Cast : 16 cast selected by audition in Jan.-Feb. 2020

作品

日本の多くの人々に愛され続ける名作をお届けする「人を思うちから」。そのシリーズの最初にお贈りするの
は、三好十郎による大作『斬られの仙太』です。小川絵梨子芸術監督がその就任とともに打ち出した支柱の一つ、
すべての出演者をオーディションで決定するフルオーディション企画の第三弾でもあります。演出を担うのは、
『オレスティア』での壮大かつ大胆な演出の記憶も新しい演出家・上村聡史。19 年 11 月より応募を開始、20
年 1 月から 2 月にかけてオーディションを開催、総勢 80 にも上る役を 16 名の出演者で演じ分けます。

物語

時は江戸末期から明治にかけて。常陸の国の水呑み百姓・仙太郎はあまりの凶作に年貢の減免と取立の猶予
をお上に訴えるが、この地の有力者・北条の喜平はそれを許さず、彼を村から追い出してしまう。復讐を誓っ
た仙太は江戸で剣法を学び、博徒となって故郷へと戻る道すがら、ひょんなことからある茶屋で頼まれごと
をされ、それをきっかけに水戸天狗党絡みの騒動へと巻き込まれていく。仙太の剣の腕と男気を目の当たりに
した党からは是非同士にと勧誘を受けた仙太は、党の斬り込み隊長として次第にその名を高めて行く……。

演出家からのメッセージ

上村聡史

小川芸術監督の第一シーズンから始まったフルオーディション企画は、役を自らが選び創作現場へと赴いていく、という表現者の根幹をととても大切にされている企画で、大変魅力的に感じていました。その企画の第三弾目のお話をいただき、私自身も非常に意欲が湧いています。題材は任せていただけたとのことだったので、敬愛してやまない三好十郎氏の、昭和九年(1934年)、氏が32歳の時に発表・初演された『斬られの仙太』を選びました。

時は江戸末期から明治にかけて、百姓一揆や「ええじゃないか」をはじめとする時代の揺れ動きを、“天狗党の乱”を軸に展開していきます。“変革”に立ち向かう熱量、その熱量から生じる善と悪、そして土と共に生きる生活の意味を丁寧に描くことで、普遍的かつ今のわたしたちにも通じる作品に仕立てたいと思います。

なかなか上演されることの少ない本作は、百姓、町民、役人、武士、博徒、芸者と約80近くの人物が登場しますが、今回は出演者たちが、この物語と登場人物たちを仕立てていくという演出プランに基づき、出演者16人全員が黒子を兼ねた座組形式の演出で上演したいと思います。ということで、皆さんそれぞれが複数役を演じますので、ほとんどの場を何かしらの役で登場してもらうことになります。さらに、殺陣シーンも多々あり、方言もあり、加えて超長尺の戯曲で相当大変になることが今から十分に予想されますが、そのあたりご容赦いただきたく思います。

とはいえ、三好十郎が紡いだ言葉と真摯に向き合うこと、役を演じきることで生ずる醍醐味とで、演劇が大衆に語りかける圧倒的な力を、こんな時代だからこそ、創造していきたいと思います。

スタッフ プロフィール

三好十郎

MIYOSHI Juro

1902年－1958年。吉江喬松に師事し、早稲田大学在学中に詩人としてデビュー。28年、高見順らと左翼芸術同盟を結成。同年、処女戯曲『首を切るのは誰だ』を発表。全日本無産者芸術連盟(ナップ)に参加、『疵だらけのお秋』のほか小説・詩を書き、31年、処女戯曲集『炭塵』を出版。以降、プロレタリア劇作家として知られたが、社会的リアリズムと呼ぶ創作方法により、政治主義・公式主義に不満を抱き組織から離れる。生涯で57編の戯曲とラジオドラマの脚本を残し、『炎の人』で52年読売文学賞戯曲賞を受賞。そのほかの代表作に『浮標』『斬られの仙太』『おりき』『廃虚』『獅子』『その人を知らず』『胎内』『崖』『冒した者』など。58年12月16日、東京・赤堤の自宅書斎で逝去。享年56歳。戯曲体で81枚、小説体で130枚書かれた『神という殺人者』が絶筆未完の遺作となったほか、『悪人を求む』が遺稿として同年12月19日の読売演劇で発表される。

上村聡史

KAMIMURA Satoshi

2001年文学座附属演劇研究所入所。09年より文化庁新進芸術家海外留学制度において1年間イギリス・ドイツに留学。18年に文学座を退座。15年に新国立劇場『アルトナの幽閉者』、文学座『信じる機械』、世田谷パブリックシアター『炎 アンサンディ』の演出で第17回千田是也賞、同年、同じく『炎 アンサンディ』、風姿花伝プロデュース『ボビー・フィッシャーはパサデナに住んでいる』の演出で第22回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。近年の主な演出作品に、『終夜』(風姿花伝プロデュース)、『ブラッケン・ムーア〜荒地の亡霊〜』『大人のけんかが終わるまで』(東宝)、『岸 リトラル』(世田谷パブリックシアター)、『イヌの仇討あるいは吉良の決断』(オペラシアターこんにゃく座)、『冒した者』『中橋公館』『弁明』(文学座)など。新国立劇場では、『オレスティア』『城塞』『アルトナの幽閉者』を演出。



人を思うちから 其の弐

2021 年 5 月

<新作>

A New Play

東京ゴッドファーザーズ

Tokyo Godfathers

小劇場

●会員先行販売期間: 2021 年 2/28(日)~3/9(火)

●一般発売日: 2021 年 3/13(土)

原作: 今 敏

Original by KON Satoshi

作: 土屋理敬

Written by TSUCHIYA Michihiro

演出: 藤田俊太郎

Directed by FUJITA Shuntaro

作 品

2003年に公開、世界中で愛され続けている今 敏監督の長編アニメーション映画の傑作『東京ゴッドファーザーズ』が、2021年演劇作品になります。

「人を思うちから 其の弐」として上演される本作は、クリスマスの一夜の東京を舞台に、様々な事情を重ねた、年齢も性別も異なる三人のホームレスが遭遇する“奇跡”の物語。アニメーション映画として不動の人気と評価を得ている本作ですが、原作に共感した藤田俊太郎はストーリーをそのままに、演劇でしか成しえない表現を用い、また2003年を2021年に移し替えることで、現在、東京が、そして日本が抱えている様々な問題をも抉り出します。

演出の藤田俊太郎は最近目覚ましい活躍を見せている新鋭演出家。ミュージカル、ストレートプレイどちらにおいても話題作を次々と上演しています。最近ではロンドンでの新作公演『VIOLET』が成功を収めました。

物 語

物語の舞台は東京。登場人物は元ドラッグクイーンのハナちゃん、元競輪選手（自称）のギンちゃん、家出少女のミユキ、そして3人を取りまく東京に住む人達。ある年の聖夜、ホームレスの3人は新宿のゴミ溜めで可愛い赤ん坊を見つけます。拾った赤ん坊の親を探して、3人は東京中を走りまわり、様々な事件に遭遇し、ドタバタのコメディが繰り広げられます。人生を捨てたはずの3人は、新しい命と出会い、またそれぞれ大切な人との奇跡の再会を果たし再び生きていくことを選びます。

演出家からのメッセージ

藤田俊太郎

2020 から 2021 年にかけて、東京はひとつの転機を迎えます。

演出にあたり、アニメーションが公開された 2003 年と 2021 年を喜劇と悲劇で繋げたいと思います。演劇は時代を映し出す鏡となり、観客席を照らすと言われます。劇中、コメディは強烈な光となり、同時に東京の闇が見え隠れします。ホームレスの自分探しの物語は、ますます広がる格差や雇用の問題、偏った思想や考えが広がる時代の中で今を生きる、自分自身の問題として照らし出されるのではないかと思います。私であれば、演出家としていつまで演劇を続けていけるのだろうかと問い続けます。そして劇中の登場人物のように、大声で笑い飛ばしながら自由に力強く演劇をつくっていきたいと思います。

今 敏監督とクリエイティブチームが作り出した数々の作品、また原作のアニメーションに心からのリスペクトを込めた演劇作品『東京ゴッドファーザーズ』。

演劇ファンの皆様も、アニメーションのファンの皆様も、たくさんのお客様を劇場でお待ちしております。

スタッフ プロフィール

今 敏

KON Satoshi

1963年－2010年。北海道出身。漫画家、アニメーション映画監督。

武蔵野美術大学在学中に漫画家としてデビュー。卒業後1990年に劇場アニメ『老人Z』で美術設定として初めて参加。1998年長編映画『パーフェクトブルー』で監督デビュー。以後、監督オリジナルによる映画『千年女優』(2002)、『東京ゴッドファーザーズ』(2003)、TVシリーズ『妄想代理人』(2004)、2006年に筒井康隆原作による『パプリカ』を公開、短編アニメ『オハヨウ』(2007)をNHKアニクリ15で放送。

2010年8月24日膵臓癌のために急逝。享年46歳。

土屋理敬

TSUCHIYA Michihiro

1965年生まれ、東京都出身。円演劇研究所にて3年間の演技研修後、劇団おぼけおぼけを旗揚げ。脚本、演出、出演を兼任。戯曲のほかに、TVアニメのシリーズ構成、脚本、ほかには、ラジオドラマ、ゲーム等脚本、小説、舞台演出も手掛ける。

主な舞台に『そして、飯島君しかいなくなった』『栗原課長の秘密基地』『田中さんの青空』『高橋さんの作り方』『風の中のマリア』、演出を兼ねた『梅津さんの穴を埋める』『カシオペアの丘で』などがある。

藤田俊太郎

FUJITA Shuntaro

1980年生まれ、秋田県出身。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。主な演出作に『The Beautiful Game』『美女音楽劇人魚姫』『手紙2017』『ダニーと紺碧の海』『sound theater VII』『Take Me Out 2018』『ジャージー・ボーイズ ザ ミュージカル イン コンサート』『ブロードウェイミュージカルピーターパン』『LOVE LETTERS』『ジャージー・ボーイズ』『VIOLET』（ロンドン・チャリングクロス劇場）。

『The Beautiful Game』（14年）の演出にて第22回読売演劇大賞優秀演出家賞・杉村春子賞、『ジャージー・ボーイズ』（16年）の演出にて第24回読売演劇大賞優秀演出家賞、『ジャージー・ボーイズ』『手紙2017』の演出の成果に対して第42回菊田一夫演劇賞を受賞。



人を思うちから 其の参

2021 年 6 月

キネマの天地

Kinema no Tenchi

小劇場

●会員先行販売期間：2021 年 3/28(日)～4/6(火)

●一般発売日：2021 年 4/10(土)

作：井上ひさし

Written by INOUE Hisashi

演出：小川絵梨子

Directed by OGAWA Eriko

出演：高橋恵子、鈴木 杏、趣里、那須佐代子、

佐藤 誓、章平、千葉哲也

Cast: TAKAHASHI Keiko, SUZUKI Anne, Syuri, NASU Sayoko,

SATO Chikau, Shohei, CHIBA Tetsuya

作品

小川絵梨子演劇芸術監督第三シーズンは、「人を思うちから」と題し、日本で親しまれ続けてきた名作をお届けします。第三弾は映画人を描いた傑作喜劇『キネマの天地』です。

本作は映画『キネマの天地』（1986 年公開、監督山田洋次、井上ひさしも作者の一人として参加）の続編として、井上ひさし自身の書き下ろし・演出で同年、日生劇場にて初演されました。

映画出演のために集められた四人の女優達が巻き込まれる、殺人事件をめぐる井上流推理喜劇に小川絵梨子が挑みます。

物語

昭和 10 年、築地東京劇場。

舞台上で準備をしている松竹キネマ蒲田撮影所の助監督・島田健二郎の前に、娘役で人気沸騰の準幹部女優・田中小春、続いてヴァンプ役で人気の幹部女優・滝沢菊江、お母さん物で有名な大幹部待遇の徳川駒子、最後に大幹部女優のトップスター立花かず子が登場する。いずれも蒲田撮影所所属の、日本映画界を代表する大スター。

超大作の松竹蒲田特作豪華版・喜劇映画『諏訪峠』の打合せに呼ばれた四人は、自らを誇示し、鞘当てし合いながら、上演中に突然死した女優の松井チエ子のことを思い出す。そこへ、松井の夫でもある映画監督小倉虎吉郎が、『諏訪峠』の代わりに、松井の 1 周年忌記念興行として『豚草物語』の再演を持ち出した。松井殺しの犯人探しを目的の監督は、万年下積み役者の尾上竹之助を刑事役として雇い、稽古中の 4 人を見張らせる。

果たして、この 4 人の中に犯人はいるのか……。

演出家からのメッセージ

小川絵梨子

『キネマの天地』は、私がどうしてもやりたかった作品の一つです。はるか昔になりますが、私が中学生の頃、演劇部で上演しました。部内のオーディションで、小春の役を貰って本当に嬉しかったことを覚えています。

あれから30年近くがたち、演出家という立場で、大好きな作品を大好きな俳優の方々と一緒にできる幸せを噛み締めています。この作品を、このキャストの皆さんと一緒にできることが楽しみでなりません。

「演劇、ありがとう」と、演劇への感謝を込めて、作品作りに向かいたいと思います。

スタッフ プロフィール

井上ひさし

INOUE Hisashi

1934年山形生まれ。64年よりNHKテレビ『ひょっこりひょうたん島』の台本を共同執筆。69年『日本人のへそ』で演劇界デビュー。72年『手鎖心中』の直木賞を始め、数々の文学・戯曲賞を受賞。81年発表の『吉里吉里人』は日本中に独立国ブームを巻き起こした。小説、戯曲、エッセーの執筆にとどまらず、社会的発言も多く、その活動は広範囲に及んだ。84年劇団こまつ座を旗揚げ。新国立劇場には97年の柿落し公演『紙屋町さくらホテル』以降、「東京裁判三部作」(『夢の裂け目』『夢の泪』『夢の疵』『箱根強羅ホテル』の五作品を書き下ろし、『雨』も上演。『井上ひさし全芝居』(全7巻)に収録の戯曲は70本に及ぶ。2010年逝去。蔵書をもとに作られた故郷山形県川西町の遅筆堂文庫では、毎年4月に吉里吉里忌を開催している。

小川絵梨子

OGAWA Eriko

※2ページを参照



2021 年 7 月

短編フェスティバル「嘘」(仮題)

—はじめての演劇—

The Short Play Festival “First-ever Theatre”

●会員先行販売期間：2021 年 4/25(日)～5/5(水・祝)

●一般発売日：2021 年 5/9(日)

会場：小劇場 中劇場 その他

企画意図

「より多くのお客様に劇場に足を運んで頂き、出来る限り気楽に演劇に触れて欲しい」との願いから、新国立劇場短編フェスティバル「嘘」(仮題)を開催いたします。

普段なかなか公演出来ない短編(最短 5 分程度～最長 45 分程度)を集めて、小劇場、中劇場を中心に様々な会場でフェスティバル形式にて上演し、お客様には、様々な場所、様々な時間帯で上演する作品を任意にお選びいただき、まるで演劇フェスティバルにご参加いただくような、ドキドキハラハラ感とともにお楽しみいただきたいと思います。2021 年夏、新国立劇場が演劇のアミューズメントパークに生まれ変わります。

作品

作品は 10 作品～12 作品程を予定、日本の作品や海外の作品、書下ろしの新作など、幅広いジャンルの作品を取り上げ、多くの幅広い世代の演出家に参加をしていただく予定です。

芸術監督からのメッセージ

小川絵梨子

普段、演劇を見慣れていないお客様にアウトリーチすること、そして演劇の面白さを「体験」していただくことを目的として、12本程度の短編作品（最短5分程度～最長45分程度）をフェスティバル形式で上演いたします。

公演は劇場の形にとらわれず、新国立劇場内の様々なスペースを使い「お祭り」にすることで、観客の皆さまに気軽に演劇に接していただきたいと考えています。

また、公演作品のみならず、フェスティバルに来場すること自体を楽しんでいただける仕掛けを考えています。演劇に出会ったことのない方々に、演劇をより身近に感じていただきたいと思います。

Drama

プロジェクト

こつこつプロジェクト —ディベロップメント—

ロイヤルコート劇場✕新国立劇場
劇作家ワークショップ

こつこつプロジェクト —ディベロップメント—

KOTSUKOTSU Project —Development—

概要

「作り手が通常の稽古ではできないことを試し、作り、壊して、また作る場にしたい。」という小川芸術監督の意を受け、長期的に作品を育てていくプロジェクト。

現在は3つのチームが、2021年3月のリーディング公演から試演1（ファースト）、試演2（セカンド）を経て、本年3月に試演3（サード）を迎えます。翌年の春以降、第二期「こつこつプロジェクト」が始動します。

ロイヤルコート劇場×新国立劇場 劇作家ワークショップ

Royal Court Theatre × New National Theatre, Tokyo Playwrights' Workshop

企画意図

2019年5月より、英国ロンドンのロイヤルコート劇場と新国立劇場が協力して行っている劇作家ワークショップ、現在も進行中です。

ロイヤルコート劇場から、企画担当者や劇作家が来日し、2019年から2020年の間に3回の時間をかけたワークショップを繰り返し、日本の劇作家たちと新作戯曲を創り上げます。

2020年6月に開催される第3フェーズのワークショップの最後には参加者がワークショップを通じて執筆した新作戯曲のリーディング上演を行い、2020年内にはロンドンでのリーディング上演を予定しています。

開催時期と内容

これまでの経過

2019年 1月～2月 オープンコールにて参加者を募集。

3月 19歳～35歳の14人の劇作家の参加が決定。

5月 <第1フェーズ>

- ・古今東西の既存の戯曲をテキストに、戯曲分解や読み込み等のワークショップ。
- ・「劇作家」の仕事内容、進め方についてのディスカッション。
- ・「戯曲」を執筆する際の「種」を見つけるためのワークショップ。

12月 <第2フェーズ>

- ・参加者全員が新作戯曲を1本ずつ執筆、計14本の戯曲をテキストとしたワークショップ。

今後の予定

2020年6月 <第3フェーズ>

- ・第2フェーズまでに執筆した戯曲を参加者がさらにブラッシュアップ。
- ・期間内で更に手を加え、俳優、演出家も参加し、後半でリーディングを行う。

2020年内中 ロンドンにてリーディング公演を予定。

Drama

公演一覧

開場記念公演～2019/2020 シーズン

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
開場記念公演	★紙屋町さくらホテル	井上ひさし		渡辺浩子	1997. 10/22
	[蒲田行進曲完結編] 銀ちゃんが逝く	つかこうへい		つかこうへい	1997. 11/13
	夜明け前	原作 島崎藤村	脚色 村山知義 補訂脚本 津上 忠	木村光一	1997. 12/04
	リア王	ウィリアム・シェイクスピア	松岡和子	鶴山 仁	1998. 1/17
1998/ 1999	★虹を渡る女	岩松 了		岩松 了	1998. 5/07
	幽霊はここにいる	安部公房		串田和美	1998. 5/12
	★今宵かざりは… 1928 超巴里井主義宣言の夜	竹内統一郎		栗山民也	1998. 6/12
	★音楽劇 ブッダ	原作 手塚治虫	脚本 佐藤 信	栗山民也	1998. 9/07
	THE PIT フェスティバル				
	カストリ・エレジー スタインベック「二十日鼠と人間」 より	脚本 鐘下辰男		鐘下辰男	1998. 10/03
	神々の国の首都	坂手洋二		坂手洋二	1998. 10/17
	寿歌	北村 想		北村 想	1998. 10/29
	ディア・ライアー すてきな嘘つき	ジェローム・キルティ	丹野郁弓	宮田慶子	1998. 11/04
	野望と夏草	山崎正和		西川信廣	1998. 12/02
	★新・雨月物語		脚本 鐘下辰男	鶴山 仁	1999. 1/11
	子午線の祀り	木下順二	演出 観世栄夫／内山 鶴／酒井 誠／高瀬精一郎		1999. 2/03
	セツァンの善人	ベルトルト・ブレヒト	松岡和子	串田和美	1999. 5/18
	羅生門	原作 芥川龍之介		構成・演出 渡辺和子	1999. 6/04
	棋人 一チーレン	過 士行	菱沼彬晃	林 兆華	1999. 7/01
1999/ 2000	キーン 或いは狂気と天才	J.P.サルトル 上演台本 栗山民也／江守 徹	鈴木力衛	栗山民也	1999. 10/04
	美しきものの伝説		宮本 研	木村光一	1999. 11/04
	一森本薫の世界一				
	かくて新年は	森本 薫		宮田慶子	1999. 12/08
	怒濤	森本 薫		マキノノゾミ	2000. 1/11
	華々しき一族	森本 薫		鐘下辰男	2000. 2/09
	★新・地獄変	原作 芥川龍之介	脚本 鐘下辰男	鶴山 仁	2000. 3/23
	なよたけ	加藤道夫		木村光一	2000. 4/11
	夜への長い旅路	ユージン・オニール	沼澤治治	栗山民也	2000. 5/11
2000/ 2001	マクベス	ウィリアム・シェイクスピア	福田恒存翻訳より 潤色 鐘下辰男	鐘下辰男	2000. 9/08
	ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲	作曲・作詞 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジョン・ワイドマン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2000. 10/02
	欲望という名の電車	テネシー・ウィリアムズ	鳴海四郎	栗山民也	2000. 10/20
	シリーズ「時代と記憶」				
	★memorandum メモランダム	構想・構成 ダムタイプ			2000. 11/27
	★母たちの国へ	松田正隆		西川信廣	2001. 1/10
	★ピカドン・キジムナー	坂手洋二		栗山民也	2001. 2/10
	★こんにちば、母さん	永井 愛		永井 愛	2001. 3/12
	★夢の裂け目	井上ひさし		栗山民也	2001. 5/08
	紙屋町さくらホテル	井上ひさし		渡辺浩子／井上ひさし	2001. 4/04
	贋作・桜の森の満開の下	野田秀樹		野田秀樹	2001. 6/01

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2001/ 2002	海外招待作品 Vol.1 太陽劇団 堤防の上の鼓手	エレーヌ・シクスー	字幕翻訳 松本伊瑳子	アリアヌ・ムヌーシュキン	2001. 9/07
	コペンハーゲン	マイケル・フレイン	平川大作	鶴山 仁	2001. 10/29
	★美女で野獣	荻野アンナ		宮田慶子	2001. 12/10
	シリーズ チューホフ・魂の仕事				
	Vol.1 かもめ	アントン・チューホフ	英訳 マイケル・フレイン 翻訳 小田島雄志	マキノノゾミ	2002. 1/11
	Vol.2 くしゃみ／the Sneeze	アントン・チューホフ	台本 マイケル・フレイン 翻訳 小田島恒志	熊倉一雄	2002. 2/28
	Vol.3 ★「三人姉妹」を追放されし トゥーゼンパフの物語	岩松 了		岩松 了	2002. 4/01
	Vol.4 ワーニャおじさん 四幕の田園生活劇	アントン・チューホフ	小野理子	栗山民也	2002. 5/09
	Vol.5 櫻の園	アントン・チューホフ	潤色 堀越 真(神西清翻訳による)	栗山民也	2002. 6/21
	★その河をこえて、五月	平田オリザ／金 明和		李 炳熹／平田オリザ	2002. 6/03
2002/ 2003	海外招待作品 Vol.2 国際チューホフ演劇祭 in モスクワ ハムレット	ウィリアム・シェイクスピア		ペーター・シュタイン	2002. 9/07
	ブロードウェイ・ミュージカル 太平洋序曲	作曲・作詞 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジョン・ワイドマン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2002. 10/11
	★アヤジルシ ー誘われて	太田省吾		太田省吾	2002. 11/12
	シリーズ「現在へ、日本の劇」				
	①ピルグリム	鴻上尚史		鴻上尚史	2003. 1/14
	②浮標	三好十郎		栗山民也	2003. 2/19
	③マッチ売りの少女	別役 実		坂手洋二	2003. 4/08
	④サド侯爵夫人	三島由紀夫		鐘下辰男	2003. 5/26
	★涙の谷、銀河の丘	松田正隆		栗山民也	2003. 5/13
	★ゴロヴリョフ家の人々	原作 サルティコフ・シCHEDリン	翻訳 湯浅芳子 脚本 永井 愛	永井 愛	2003. 6/18
2003/ 2004	★nocturne ー月下の歩行者	構成 松本雄吉		松本雄吉	2003. 9/08
	★夢の泪	井上ひさし		栗山民也	2003. 10/09
	世阿彌	山崎正和		栗山民也	2003. 11/27
	シリーズ「女と男の風景」				
	①海外招待作品 Vol.3 香港・劇場組合 The Game /ザ・ゲーム	ウジェーヌ・イヨネスコの悲喜劇 『椅子』より 翻案 ジム・チム／ オリヴィア・ヤン	字幕 角田美知代	ジム・チム／ オリヴィア・ヤン	2004. 2/20
	② ★THE OTHER SIDE ／線のむこう側	アリエル・ドーフマン	水谷八也	孫 振策	2004. 4/12
	③★てのひらのこびと		鈴江俊郎	松本祐子	2004. 5/11
	④請願 ー静かな叫びー	ブライアン・クラーク	吉原豊司	木村光一	2004. 6/22
	こんにちは、母さん	永井 愛		永井 愛	2004. 3/10
	透明人間の蒸気	野田秀樹		野田秀樹	2004. 3/17
	ブロードウェイ・ミュージカル INTO THE WOODS	作詞・作曲 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジェイムズ・ラパイン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2004. 6/09

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2004/ 2005	THE LOFT 小空間からの提案				
	胎内	三好十郎		栗山民也	2004. 10/04
	◎ ★ヒトノカケラ	篠原久美子		宮崎真子	2004. 10/22
	★二人の女兵士の物語	坂手洋二		坂手洋二	2004. 11/08
	喪服の似合うエレクトラ	ユージン・オニール	沼澤 治治	栗山民也	2004. 11/16
	★城	原作 フランツ・カフカ	構成 松本 修	松本 修	2005. 1/14
	シリーズ 笑い				
	①花咲く港	菊田一夫		鶴山 仁	2005. 3/14
	②★コミュニケーションズ 現代劇作家によるコント集	作 綾田俊樹／いとうせいこう／ケラリーノ・サンドロヴィッチ／杉浦久幸 高橋徹郎／竹内 佑／鄭 義信／土田英生／別役 実／ふじきみつ彦／武藤真弓 原作使用 筒井康隆		構成・演出 渡辺えり子	2005. 4/08
	③★箱根強羅ホテル	井上ひさし		栗山民也	2005. 5/19
2005/ 2006	④うら騒ぎ ノイズ・オフ	マイケル・フレイン	小田島恒志	白井 晃	2005. 6/27
	その河をこえて、五月	平田オリザ／金 明和		李 炳熹／平田オリザ	2005. 5/13
	海外招待作品 Vol.4 ベルリナー・アンサンブル アルトゥロ・ウイの興隆	ベルトルト・ブレヒト	イヤホンガイド翻訳 新野守広	ハイナー・ミュラー	2005. 6/22
	◎黒いチューリップ／盲導犬	唐 十郎		中野敦之	2005. 9/27
	◎屋上庭園／動員挿話	岸田國士		宮田慶子〈屋上庭園〉 深津篤史〈動員挿話〉	2005. 10/31
	母・肝っ玉とその子供たち ー三十年代戦争年代記	ベルトルト・ブレヒト	谷川道子	栗山民也	2005. 11/28
	ガラスの動物園	テネシー・ウィリアムズ	小田島雄志	イリーナ・ブルック	2006. 2/09
	十二夜	ウィリアム・シェイクスピア	脚本 山崎清介 小田島雄志翻訳による	山崎清介	2006. 3/07
	シリーズ「われわれは、どこへいくのか」				
	①★カエル	過 士行	菱沼彬晃	鶴山 仁	2006. 4/01
2006/ 2007	◎ ②★マテリアル・ママ		岩松 了	岩松 了	2006. 4/19
	③★やわらかい服を着て	永井 愛		永井 愛	2006. 5/22
	④★夢の痾	井上ひさし		栗山民也	2006. 6/28
	ブロードウェイ・ミュージカル Into the Woods	作詞・作曲 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジェイムズ・ラパイン	翻訳・訳詞 橋本邦彦	演出・振付 宮本亜門	2006. 5/19
	★アジアの女	長塚圭史		長塚圭史	2006. 9/28
	「劇的な情念をめぐって」ー世界の名作よりー				
	シラノ・ド・ベルジュラック	原作 エドモン・ロスタン	翻訳 辰野 隆／ 鈴木信太郎	構成・演出 鈴木忠志	2006. 11/02
	イワーノフ／ オイディプス王	原作 アントン・チェーホフ 原作 ソフォクレス	翻訳 池田健太郎 日本語 福田恒存 ドイツ語 ヘルダーリン	構成・演出 鈴木忠志	2006. 11/04
	◎ ★エンジョイ	岡田利規		岡田利規	2006. 12/07
	コペンハーゲン	マイケル・フレイン	平川大作	鶴山 仁	2007. 3/01
2007	★CLEANSKINS /きれいな肌	シャン・カーン	小田島恒志	栗山民也	2007. 4/18
	★下周村 ー花に嵐のたとえもあるさー	平田オリザ／李 六乙		李 六乙／平田オリザ	2007. 5/15
	夏の夜の夢	ウィリアム・シェイクスピア	松岡和子	ジョン・ケアード	2007. 5/31
	氷屋来たる	ユージン・オニール	沼澤 治治	栗山民也	2007. 6/18

★＝新作 ◎＝THE LOFT 公演

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2007/ 2008	「三つの悲劇」ーギリシャから				
	Vol.1 ★アルゴス坂の白い家 ークリュタイムストラー	川村 毅		鶴山 仁	2007. 9/20
	Vol.2 ★たとえば野に咲く花のように ーアンドロマケー	鄭 義信		鈴木裕美	2007. 10/17
	Vol.3 ★異人の唄 ーアンティゴネー	土田世紀	脚色 鐘下辰男	鐘下辰男	2007. 11/14
	屋上庭園／動員挿話	岸田國士		宮田慶子〈屋上庭園〉 深津篤史〈動員挿話〉	2008. 2/26
	★焼肉ドラゴン	鄭 義信		梁 正雄／鄭 義信	2008. 4/17
	オットーと呼ばれる日本人	木下順二		鶴山 仁	2008. 5/27
	シリーズ・同時代				
	Vol.1 ★鳥瞰図 ーちようかんずー	早船 聡		松本祐子	2008. 6/11
	Vol.2 ★混じりあうこと、消えること	前田司郎		白井 晃	2008. 6/27
	Vol.3 ★まほろば	蓬萊竜太		栗山民也	2008. 7/14
2008/ 2009	近代能楽集『綾の鼓』『弱法師』	三島由紀夫		前田司郎〈綾の鼓〉 深津篤史〈弱法師〉	2008. 9/25
	山の巨人たち	ルイジ・ピランデルロ	翻訳 田之倉稔	ジョルジュ・ラヴオーダン	2008. 10/23
	舞台は夢 ーイリュージョン・コミックー	ピエール・コルネイユ	翻訳 伊藤 洋	鶴山 仁	2008. 12/03
	シリーズ・同時代【海外編】				
	Vol.1 昔の女	ローラント・シメルプフェニヒ	翻訳 大塚 直	倉持 裕	2009. 3/12
	Vol.2 シュート・ザ・クロウ	オーウェン・マカファーティー	翻訳 浦辺千鶴／ 小田島恒志	田村孝裕	2009. 4/10
	Vol.3 タトゥー	デーア・ローアー	翻訳 三輪玲子	岡田利規	2009. 5/15
	夏の夜の夢	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 松岡和子	ジョン・ケアード	2009. 5/29
2009/ 2010	★現代能楽集 鶴	坂手洋二		鶴山 仁	2009. 7/02
	ヘンリー六世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	
	第一部 百年戦争				2009. 10/27
	第二部 敗北と混乱				2009. 10/28
	第三部 薔薇戦争				2009. 10/29
	象	別役 実		深津篤史	2010. 3/05
	東京裁判三部作	井上ひさし		栗山民也	
	夢の裂け目				2010. 4/04
	夢の泪				2010. 5/06
	夢の痾かさぶた				2010. 6/03
	★エネミイ	蓬萊竜太		鈴木裕美	2010. 7/01
	[JAPAN MEETS... ー現代劇の系譜をひもとくー]				
2010/ 2011	I ヘッダ・ガーブレル	ヘンリック・イブセン	翻訳 アンネ・ランデ・ペータス ／長島 確	宮田慶子	2010. 9/17
	II やけたトタン屋根の上の猫	テネシー・ウィリアムズ	翻訳 常田景子	松本祐子	2010. 11/09
	III わが町	ソーントン・ワイルダー	翻訳 水谷八也	宮田慶子	2011. 1/13
	IV ゴドーを待ちながら	サミュエル・ベケット	翻訳 岩切正一郎	森 新太郎	2011. 4/15
	焼肉ドラゴン	鄭 義信	翻訳 川原賢柱	鄭 義信	2011. 2/07
	鳥瞰図 ーちようかんずー	早船 聡		松本祐子	2011. 5/10
	雨	井上ひさし		栗山民也	2011. 6/09
	★おどくみ	青木 豪		宮田慶子	2011. 6/27

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2011/ 2012	【美×劇】 —滅びゆくものに託した美意識—				
	I 朱雀家の滅亡	三島由紀夫		宮田慶子	2011. 9/20
	II ★イロアセル	倉持 裕		鶴山 仁	2011. 10/18
	III 天守物語	泉 鏡花		白井 晃	2011. 11/05
	★パーマ屋スミレ	鄭 義信		鄭 義信	2012. 3/05
	まぼろば	蓬萊竜太		栗山民也	2012. 4/02
	負傷者 16 人 —SIXTEEN WOUNDED—	エリウム・クライエム	翻訳 常田景子	宮田慶子	2012. 4/23
	【JAPAN MEETS… —現代劇の系譜をひもとく—】				
2012/ 2013	V サロメ	オスカー・ワイルド	翻訳 平野啓一郎	宮本亜門	2012. 5/31
	VI 温室	ハロルド・ピンター	翻訳 喜志哲雄	深津篤史	2012. 6/26
	リチャード三世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	2012. 10/03
	【JAPAN MEETS… —現代劇の系譜をひもとく—】				
	VII りつぽ	アーサー・ミラー	翻訳 水谷八也	宮田慶子	2012. 10/29
	★音のいない世界で	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2012. 12/23
	長い墓標の列	福田善之		宮田慶子	2013. 3/07
	With —つながらず演劇—				
2013/ 2014	★ウェルズ編『効率学のススめ』	アラン・ハリス	翻訳 長島 確	ジョン・E・マグラ	2013. 4/09
	★韓国編 アジア温泉	鄭 義信	翻訳 朴 賢淑	孫 振策	2013. 5/10
	★ドイツ編 つく、きえる	ローラント・シンメルプフェニヒ	翻訳 大塚 直	宮田慶子	2013. 6/04
	象	別役 実		深津篤史	2013. 7/02
	Try・Angle —三人の演出家の視点—				
	Vol.1 OPUS / 作品	マイケル・ホリナー	翻訳 平川大作	小川絵梨子	2013. 9/10
	Vol.2 エドワード二世	クリストファー・マーロウ	翻訳 河合祥一郎	森 新太郎	2013. 10/08
	Vol.3 アルトナの幽閉者	ジャン＝ポール・サルトル	翻訳 岩切正一郎	上村聡史	2014. 2/19
2014/ 2015	【JAPAN MEETS… —現代劇の系譜をひもとく—】				
	VIII ピグマリオン	ジョージ・バーナード・ショー	翻訳 小田島恒志	宮田慶子	2013. 11/13
	マニラ瑞穂記	秋元松代		栗山民也	2014. 4/03
	テンベスト	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 松岡和子	白井 晃	2014. 5/15
	★十九歳のジェイコブ	原作 中上健次	脚本 松井 周	松本雄吉	2014. 6/11
	永遠の一瞬 —Time Stands Still —	ドナルド・マーグリーズ	翻訳 常田景子	宮田慶子	2014. 7/08
	【JAPAN MEETS… —現代劇の系譜をひもとく—】				
	IX 三文オペラ	ベルトルト・ブレヒト	翻訳 谷川道子	宮田慶子	2014. 9/10
2014/ 2015	二人芝居 —対話するカー—				
	Vol.1 プレス・オブ・ライフ～女の肖像～	デイヴィッド・ヘア	翻訳 鶴澤麻由子	蓬萊竜太	2014. 10/08
	Vol.2 ご臨終	モーリス・パニッチ	翻訳 吉原豊司	ノゾエ征爾	2014. 11/05
	Vol.3 星ノ数ホド	ニック・ペイン	翻訳 浦辺千鶴	小川絵梨子	2014. 12/03
	ウィンズロウ・ボーイ	テレンス・ラティガン	翻訳 小川絵梨子	鈴木裕美	2015. 4/09
	【JAPAN MEETS… —現代劇の系譜をひもとく—】				
	X 海の夫人	ヘンリック・イブセン	翻訳 アンネ・ランデ・ペータス ／長島 確	宮田慶子	2015. 5/13
	東海道四谷怪談	鶴屋南北	上演台本 フジノサツコ	森 新太郎	2015. 6/10
	★かがみのかなたはたなかのなかに	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2015. 7/06

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2015/ 2016	パッション	作曲・作詞 スティーブン・ソンドハイム 台本 ジェームス・ラパイン	翻訳 浦辺千鶴 訳詞 竜 真知子	宮田慶子	2015. 10/16
	桜の園	アントン・チェーホフ	翻訳 神西 清	鶴山 仁	2015. 11/11
	バグダッド動物園のベンガルタイガー	ラジヴ・ジョセフ	翻訳 平川大作	中津留章仁	2015. 12/08
	鄭義信 三部作				
	焼肉ドラゴン	鄭 義信		鄭 義信	2016. 3/07
	たとえば野に咲く花のように	鄭 義信		鈴木裕美	2016. 4/06
	パーマ屋スミレ	鄭 義信		鄭 義信	2016. 5/17
	あわれ彼女は娼婦	ジョン・フォード	翻訳 小田島雄志	栗山民也	2016. 6/08
	★「かぐや姫伝説」より月・こうこう・風・そうそう	別役 実		宮田慶子	2016. 7/13
2016/ 2017	フリック	アニー・ペイカー	翻訳 平川大作	マキノノゾミ	2016. 10/13
	ヘンリー四世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	
	第一部 -混沌-				2016. 11/26
	第二部 -戴冠-				2016. 11/27
	かさなる視点 ―日本戯曲のカー				
	Vol.1 白蟻の巣	三島由紀夫		谷 賢一	2017. 3/02
	Vol.2 城塞	安部公房		上村聡史	2017. 4/13
	Vol.3 マリアの首 -幻に長崎を想う曲-	田中千禾夫		小川絵梨子	2017. 5/10
	[JAPAN MEETS... ―現代劇の系譜をひもとく―]				
2017/ 2018	XI 君が人生の時	ウィリアム・サローヤン	翻訳 浦辺千鶴	宮田慶子	2017. 6/13
	XII 怒りをこめてふり返れ	ジョン・オズボーン	翻訳 水谷八也	千葉哲也	2017. 7/12
	トロイ戦争は起こらない	ジャン・ジロドゥ	翻訳 岩切正一郎	栗山民也	2017. 10/05
	プライムたちの夜	ジョーダン・ハリソン	翻訳 常田景子	宮田慶子	2017. 11/07
	かがみのかなたはたなかのなかに	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2017. 12/05
	赤道の下のマクベス	鄭 義信		鄭 義信	2018. 3/06
	1984	原作 ジョージ・オーウェル	脚本 ロバート・アイク ／ダンカン・マクミラン 翻訳 平川大作	小川絵梨子	2018. 4/12
	ヘンリー五世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 小田島雄志	鶴山 仁	2018. 5/17
	夢の裂け目	井上ひさし		栗山民也	2018. 6/04
2018/ 2019	★消えていくなら朝	蓬萊竜太		宮田慶子	2018. 7/12
	誤解	アルベール・カミュ	翻訳 岩切正一郎	稲葉賀恵	2018. 10/04
	誰もいない国	ハロルド・ピンター	翻訳 喜志哲雄	寺十 吾	2018. 11/08
	スカイライト	デイヴィッド・ヘア	翻訳 浦辺千鶴	小川絵梨子	2018. 12/06
	フルオーディション1				
	かもめ	作 アントン・チェーホフ 台本 トム・ストッパード	翻訳 小川絵梨子	鈴木裕美	2019. 4/11
	★少年王者館 1001	天野天街		天野天街	2019. 5/14
	オレステイア	原作 アイスキュロス 作 ロバート・アイク	翻訳 平川大作	上村聡史	2019. 6/06
	★骨と十字架	野木萌葱		小川絵梨子	2019. 7/11
	こつこつプロジェクト -ディベロップメント- リーディング公演				
	リチャード三世	ウィリアム・シェイクスピア	翻訳 松岡和子	西 悟志	2019. 3/13
	あーぶくたった、にいたった	別役 実		西沢 栄治	2019. 3/14
	スペインの戯曲	ヤスミナ・レザ	翻訳 穴澤万里子	大澤 遊	2019. 3/15

★＝新作

シーズン	演目	作	訳・脚色	演出	公演初日
2019/ 2020	ことぜんシリーズ				
	Vol.1 どん底	マクシム・ゴーリキー	翻訳 安達紀子	五戸真理枝	2019. 10/03
	Vol.2 あの出来事	デイヴィッド・グレッグ	翻訳 谷岡健彦	瀬戸山美咲	2019. 11/13
	Vol.3 タージマハルの衛兵	ラジヴ・ジョセフ	翻訳 小田島創志	小川絵梨子	2019. 12/07
	フルオーデション 2				
	反応工程	宮本 研		千葉哲也	2020. 4/09
	ガールズ&ボーイズ	デニス・ケリー	翻訳 小田島創志	蓬萊竜太	2020. 5/12
	願いがかなうぐつつくカクテル	ミハエル・エンデ	翻訳 高橋文子	小山ゆうな	2020. 7/09
	★長塚圭史新作	長塚圭史	振付 近藤良平	長塚圭史	2020. 8/05

★＝新作

MEMO

MEMO